

# 大切なものを 火災から守るために

2月から3月は、1年の中でも火災の発生が特に多い時期です。空気が乾燥していることに加え、強風による延焼も心配されます。昨年、市内で発生した火災の原因の3割近くが放火です。これに、台所のこまろからの出火、たばこの火の不始末が続きます。また高層ビル、マンションなども増えており、これまでにない規模の火災も想定されます。

大切なのは火事を出さないこと、また発生しても初期消火に努めることです。そのためには防災訓練などに参加し、正しい知識を身につけることが大切です。消防団なども協力し合い、一人ひとりが地域を守るという意識を高めましょう。

放火を防ぐために、  
燃えやすい物を置かない



耐用年数の過ぎた電気製品、  
暖房器具などは使わない



寝たばこやたばこの  
投げ捨ては絶対にしない



天井まで火の手が  
あがったら、とにかく逃げる



防災訓練に参加し、  
消火器などの扱いに慣れておく



使わない電気製品の  
電源を抜く



調理をしているときは  
絶対に器具から離れない

ストーブの前で  
洗濯物を乾かさない



火災を発見したら、  
まず大声で知らせる

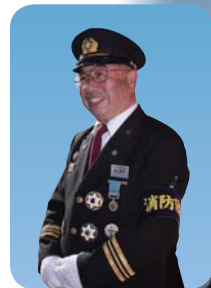
住宅用火災警報器を  
設置する



## 火災を防ぐ10のポイント

### 365日まちを パトロールしています 「市川市消防団」

特別職の地方公務員である消防団員は、地域の防災リーダーの責任を担っています。現在、市川市では11人の女性を含む377人のメンバーが23個分団に分かれ、情報交換をしたり、訓練を行ったりしています。全国規模で開催される消



団長 祖山 晏宏さん

防ポンプ操法大会の出場は、励みになります。また、地域の安全パトロールは、365日、1日も休まずとがありません。放火されやすい場所を目配るだけでなく、不審者はいないか、また「火」の文字がはずれしていないか、またあらゆる場所を安全確認をしています。こうした日々の積み重ねが、いざというときに生かされるのです。仕事をしながら活動することは確かに大変ですが、しかし自分たちのまちは自分たちが守るという消防への情熱と家族の理解によって、私自身もここまで続けてくることができました。これらの活動を通じて、年齢も職業もさまざまな仲間が生まれます。ぜひ、自分たちのまちを守る活動に参加してください。



### 消防団員 募集中!

応募資格  
市内在住、在勤で18歳以上の健康な方  
興味がある方はホームページをご覧ください。  
http://www.city.ichikawa.lg.jp/capage/kurashi-kyukyusoudou.html  
問い合わせ先  
消防団員募集課市民防災担当室  
☎0476-2-176(夜間・休日:☎0476-2-177)

### 地域の女性防災リーダー 「市川市婦人消防クラブ」



左から 副会長・石橋澄子さん(国分支部)  
会長・西原幸子さん(八幡支部)  
副会長・安藤千枝さん(南行徳支部)

このクラブは平成元年に発足し、現在約500人を超えるメンバーが地域の女性防災リーダーとして活躍しています。月に回は集まるとして、防災や救急について勉強し、その重要性を地域の防災訓練で伝えていきます。また夜間のパトロールなども実施しています。メンバーは講習を受講し、普通救命講習、応急手当普及員講習などの修了証を取得しました。消火器の使い方やAEDの操作方法などは、皆さんにもぜひ一度体験してほしいです。2月の総合訓練では災害が起こった場合を想定し、炊き出しなども行います。いざという時、どうにも助けて来てください。大切なものは自分たちのまちはまず自分たちが守るという意識です。クラブには健康であれば、どなたでも参加できます。特に若い方の加入を待っています。



### 各種問い合わせ先

- 火災や住宅用火災警報器に関することは、市川市消防局 ☎333-2111
- こまろなどのガスに関することは、京業ガス株ガス漏れ専用電話 ☎325-1049、またはお近くのガス専門店など
- 電気配線、漏電などの電気に関することは、東京電力株式会社 ☎120-99-5556、千葉県電気工事工業組合市川支部 ☎323-2745、お近くの電気専門店など

### もう取り付けましたか? 住宅用火災警報器

市では、平成20年6月1日から、すべての住宅に設置を義務づけています。「住宅用火災警報器」は熱や煙によっていち早く火災を感知し、警報音を発して知らせます。アパートやマンションなど借家の場合は、管理者と話し合い、設置を進めましょう。

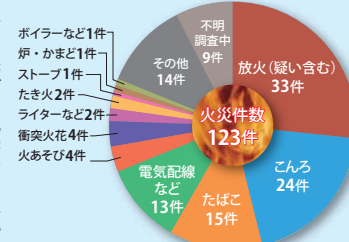
お住まいの方全員が65歳以上で、かつ市民税が非課税という住宅の世帯主には、警報器を給付して設置もします。☎334-1152地域福祉支援課まで、お問い合わせください。

昨年、市川市で発生した火災は、123件でした。その前年は126件で、ここ数年減少傾向にあります。

この123件の火災を種別ごとにみますと、住宅などの建物で燃えた「建物火災」が68件で、次いでゴミや枯れ草などが燃えた「その他火災」41件、車両やバイクなどが燃えた「車両火災」が14件ありました。「建物火災」は、火災件数全体の55%を占めており、特に一般住宅や共同住宅といった家庭からの出火が多くなっています。

また、火災による死者は3人、負傷者は35人、損害額は約6,300万円です。命と財産が失われています。

### 平成21年 原因別火災件数



1月9日に行われた出初め式での消防団による一斉放水